

イリオモテヤマネコ保全を新段階に

西表島の世界自然遺産登録に交通事故死等で絶滅が危惧されているイリオモテヤマネコの保全が課題となっている。交通事故対策として道路沿いでの草刈り等が行われてきたが、事故は確実に増えている。ヤマネコの数は増えていないので、これまでの保全策が不十分であることは明白である。安全な生息域と餌場を確保する、既存の道路の上にヤマネコ等が通る道を造って事故防止を図る、といった根本的な保全への転換期であろう。一方、ヤマネコ保全には地域住民の協力が必須であるが、保全意識はそれ程高くなく、これは行政等が住民に丁寧な説明してこなかったことに起因している。前記の様な保全策には高額予算が伴うが、管理を含めて住民が潤う形にすると、住民の自然環境への誇りと保全意識も高まり、意義ある支出となる。多くの国民にヤマネコ存続が極めて危ういことを理解して頂きたい。また、西表島の藻場がウミガメの食害で危機的にあることもお知らせしたい。